

FMアップルウェーブ 第112回放送番組審議会

開催日時	平成30年10月13日(土) 12:00~
開催場所	土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)
出席委員	委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、檜山 史子
会社側出席者	専務取締役 一戸 勝美、取締役 倉田 正直 放送部統括マネージャー 花田 由香子、チーフ 玉田 雅規
議題	(1) 課題番組の審議 (2) 次回開催日: 12月18日(土)

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組

『男たちの晩方』

- ① 面白い番組。冒頭の小唄で心を掴まれた。穏やかでお洒落、という印象。わかりづらい場面があったが、番組の雰囲気には合っていて違和感はない。2時間の長い番組だが、楽しく聴くことができた。
- ② 状況描写のトークは何を伝えたいのかわからない、とりとめのない話が続く。本当に伝えたい事が明確になっていなかった。美術をラジオで伝えるのは難しい。聴き手のことを考えていない、内輪の話だけの番組ではないか。リスナーが何を思っているのかを考えてほしい。
- ③ フランスの一人旅は面白く、初めて知る情報満載で興味を持って聴けた。本物のモナリザを見て自分の人生を振り返るところはパーソナリティのキャラクターがよく表われていた。冒頭のトークは番組の導入としてはくだらなかつた。音声は聞き取りにくかつたため、スタジオでの解説や問答にもう少し工夫がほしかつた。
- ④ リスナーが聴く姿勢になるような導入や自己紹介などが必要。レポート部分は何を根拠に判断して伝えているのかの説明もなければならぬ。旅レポートの録音があるなど作り方としては良いが、自己満足なもので終わっている。せっかくパリに行ったのなら、弘前とのつながりなども見つけてほしい。
- ⑤ パリでのレポートを放送したかつた狙いがわからない。ざつぱらんな話をするのもリスナーのことを考えて工夫すべき。美術館へ行ったのに作品の話がほとんどないのもいかなものか。3人でのトークは一部聞き取りづらい場面もあつた。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載

議事の概要